

大通 **防災だより** 第23号

**防災 避難訓練  
ウォーク・ラリー  
を開催します！**

**日時：平成30年11月4日（日）  
午前9：00～12：00**  
**場所：大通、大通西、大通南、大通黄金  
各自治会 全域**

**目的**

ウォーク・ラリーゲームを通じて、災害が起きた時に家族や隣人と力を合わせて行動する考えや、災害時に役立つ知識や動作を体験・習得します。

**内容**

水害が発生し家族や隣人と避難所へ向かうという想定で、チームで地図を参考にしてチェックポイントを回ります。チェックポイントでのクイズやゲームで得点を獲得しながら、設定時間により近い時間内で目的地（避難所）へ到着することで合計得点を競います。 **（※詳細は 4面に）**

主催：大通コミュニティ自主防災会  
共催：大通コミュニティ協議会・総務スポーツ

『大通防災だより』の発行は  
新潟市地域活動補助事業です



発行  
大通地域生活センター内  
大通コミュニティ自主防災会  
TEL 025-362-1491

# 災害について知ろう！考えよう！備えよう！

こちらは6月28日から数日間停滞した梅雨前線の影響により起こった西日本豪雨の様子です。



※livedoor blog  
7月9日掲載写真

今回の豪雨で改めて思い知らされたのは、**気象情報をこまめにチェックして、危険が迫っているときには、ためらわずに避難することの大切さだ。**多くの犠牲者が出た岡山、広島、愛媛3県の土砂災害は、発生が7月6日夕方から7日朝までの14時間半に集中していた。土砂災害で亡くなった人の約8割がこの時間帯に被害に遭い、その大半が自宅やその周辺で被災したとみられている。**明るいうちに避難していれば助かった可能性がある。**一方で、**大雨特別警報が出されても実際に避難したのは3%余り**だったことがアンケートで分かった。岡山、広島、福岡3県で調べたところ、8割以上は警報を認識していたが、ほとんどが避難しなかったのである。**「自分は大丈夫」と油断せず、速やかな避難が自分の命を守ることに繋がる**ということを肝に銘じたい。

※新潟日報モア社説8月12日掲載記事

## 災害時に最も重要なのは「早い段階での自主避難」！

「避難5分早ければ」との記事もあるように、災害時にはたとえ避難が「空振り」であったとしても、テレビやラジオによる以下のような避難情報などを基に、早めの判断と行動を何よりも心掛けましょう！！

自治体発表	判断基準例(自治体ごとに設定)	取るべき行動例
川が氾濫する恐れが出た場合の対応	<b>避難指示(緊急)</b> ▶堤防の決壊や越水が発生 ▶川の水位が堤防高に到達する恐れが高い ▶異常な漏水などで決壊の恐れが高い ▶水門などの施設が支障	▶災害が発生していてもおかしくない極めて危険な状況。避難していない人は即座に避難所へ ▶避難所への移動が危険と判断した場合は、近くの安全な場所や自宅の上階へ避難する
	<b>避難勧告</b> ▶氾濫危険水位に到達 ▶氾濫注意水位を越え、急激な水位上昇の恐れがある ▶異常な漏水などを発見 ▶強い降雨を伴う台風が、夜間から明け方に接近、通過することが予想される	▶避難所へ速やかに向かう ▶避難所への移動が危険と判断した場合は、近くの安全な場所や自宅の上階へ避難する

**「避難準備・高齢者等避難開始」の指示が出たら即避難を開始して下さい！**

**避難場所がどこか、事前に確認しておきましょう！**

# 防災に取り組む意味！

「いつ起こるか分からない災害のために備えるなんてばからしい。」、「備えていても備えていなくても、災害に巻き込まれてしまえば同じ。」と考える人もいるかもしれませんが。しかし、自分や家族が被災することを想定して十分な備えをしていたかどうかで、実際に被災した場合の気持ちや行動、生活は大きく異なってきます。

まず、**気持ち**です。

被災することを想定していれば、必要以上にパニックにならず、冷静に状況を判断して適切な行動を取りやすくなります。

次に、**行動**です。

被災時の避難場所や避難ルートを家族で決めておけば、迅速かつ安全に避難できますし、家族がバラバラの場所で被災しても、すぐに合流することができます。

最後に、**生活**です。

防災グッズや備蓄品を買いそろえておくことで、衣食に大きな支障なく過ごすことができます。

また、自宅の耐震改修や防火対策などを行っておけば、災害による被害を最小限に食い止めることができ、自宅に住み続けられる可能性も高くなります。

このように、**普段から自分の住んでいる地域をハザードマップ等で確認し、防災に取り組んでおくこと**で、何らかの災害に巻き込まれた時に冷静さを保ち、適切な避難行動をとり、生活への影響を最小限に抑えることができます。

© Copyright 2018 防災ノート参照

**一番大切なのは、自分の命は自分で守る意識と行動です！**

# 防災 避難訓練 ウォーク・ラリー

参加チーム 募集要項!

- ご家族、ご近所、友達同士で6人のチームを作ってお参加ください。  
ユニークなチーム名を付けてご応募ください。特別賞があります。  
60歳以上のご高齢の方を含む場合は優遇得点が加算されます。
- ご家族、隣人で定員に満たない場合、自治会内で調整してチーム作りをしてください。それでも人数が足りなかった場合は、主催者が調整します。もちろん個人でのご応募もOKです。
- 各自が災害時(水害)に避難する服装で、非常持ち出し品を持ってご参加ください。
- 団地内を地図を参考に約2.8kmの道のりを歩いていただきます。  
避難行動の想定ですので、移動の際はチーム6人が1本のロープを持って一緒に行動してください。交通安全にも注意して、歩道または道路の右側を1列になって歩きます。
- 3ヶ所のチェックポイントで防災クイズ、防災行動ゲーム、暗号さがしなどを行っていただき得点を獲得します。6人が力を合わせ、知識を出し合って問題を解決しましょう。
- チェックポイントで獲得した合計得点から、ゴールまでの所要時間と主催者があらかじめ設定した「マジックタイム」との誤差が減点され、総得点が決まります。ですから、早く周ってこればいいというわけではありません。
- トップ3チームには景品を、全チームに参加賞をさしあげます。
- 応募用紙は大通地域生活センターに用意してあります。各自治会に回覧でも回しますのでご記入をお願い致します。また、各自治会長宅にも用意してありますので、お問い合わせください。

